

城端線・氷見線 LRT 化等の事業費調査結果

1 調査概要

(1) 城端線・氷見線 LRT 化事業費調査

城端線・氷見線の全線を電化し、低床型の LRT 車両を導入した場合の事業費を複数の運行頻度に応じて明らかにするための調査

(2) 城端線・氷見線 LRT 化（電化）以外の交通モード検討調査

LRT（電化）との比較検討を行うため、LRT（電化）以外の交通モード（LRT（架線レス）、新型鉄道車両、BRT）の概算整備費や特色等を明らかにするための調査

2 調査内容

(1) 城端線・氷見線 LRT 化事業費調査

ア 調査ケース

区分		ケース1	ケース2	ケース3	ケース4	ケース5	ケース6
直通化		直通あり			直通なし		
運行 間隔	ピーク	10分	15分	30分	10分	15分	30分
	オフピーク	15分	30分	60分	15分	30分	60分

イ 調査項目等

- ・運行ダイヤの検討
- ・車両費の積算
- ・土木設備の積算（駅・ホームの改良、高岡駅での直通化、行き違い設備等）
- ・電化設備の積算（架線、信号・通信設備、変電所、指令等）

(2) 城端線・氷見線 LRT 化（電化）以外の交通モード検討調査

ア 調査対象とした交通モード

- ・LRT（架線レス）
- ・新型鉄道車両
- ・BRT（バス高速輸送システム）

イ 調査項目等

- ・上記3つの交通モードについて、概算整備費を算出するとともに特色を把握・分析

3 調査結果

別紙のとおり